

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 2011年を目途に、理念・目的を具体化したアドミッションポリシーを策定する。	→アドミッションポリシー策定の有無。	A	A	A	A	/
2. 理念・目標を社会にアピールする方策を策定する。	→学内での検討会、総合政策研究科HPの更新・利用状況、公開シンポジウム開催状況、学外説明会開催状況、受験者数・入学者数	B	B	B	B	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	総合政策研究科では、現代社会の諸問題を多様な視点から総合的に把握するための高度な課題発見能力と政策立案能力を実践的に涵養することを通じて、社会の各分野で指導的役割を果たしうる高度専門的職業人の養成と、研究者として十分な専門能力を有する人材の育成を目標としている。こうした理念・目的の実現のため、アドミッション・ポリシーを定め、人材の育成と研究の推進に努めている。また、2012年度からは、研究科のさらなる発展をめざして、将来構想検討委員会を中心にカリキュラム等の改正作業を進めているところである。
目標2	総合政策研究科の理念・目的は関西学院公式Webサイトの総合政策研究科のホームページで広く公開されている。大学院生には、入学時のオリエンテーションやマスター・セミナーの授業等を通じて理念・目的の浸透・周知を図っている。さらに産官学協働機構としてリサーチ・コンソーシアム総会記念事業の開催、学術雑誌『総合政策研究』及び『院生論文集』の配布、メールマガジンの配信等を通じて、研究科の理念・目的ならびに、その基本的視座であるヒューマン・エコロジー等の理解の普及に努めている。
備考	今後も、リサーチ・コンソーシアム等を通じて産官学民の共同研究体制の構築をめざす。さらに新たな会員の獲得によって、総合政策研究科を中心とした研究ネットワークの確立を図る。また、留学生の受け入れ等によるグローバル化をさらに進める。